



校長室だより 笑顔



さくらだいこくん

今年度のテーマ **聴き合う**

◆ さくら児童会スローガン: たくましく 笑顔いっぱい あかいつ子 ◆

目指す児童像に向けて 一かしこくー

代表委員会で決まりました!

本校では、目指す児童像「あかるく かしこく いきいきと」を実現するため、今年度は「聴き合う」をキーワードにして取り組んでいます。「挑む」「やりぬく」「認め合う」「支え合う」を具体の行動として、子どもたちが自ら考え自ら行動できるように働きかけています。先日の朝会では、「なぜ学ぶのか」について子どもたちに投げかけ、友達と話し合いながら考えました。

なぜ勉強するのか考えてみよう ～聴き合って、楽しみながら学ぼう～

(略) では、勉強って何のためにするのか考えたことがありますか。

正解があるわけではないので、1年生から6年生まで一人一人が今、考えてみましょう。

では、それを隣同士で教え合って、聴き合ってみてください。(この後、3人が発表しました。)

「なぜ人は学ぶのか」大昔からそれはみんなが考えるテーマの1つでした。今から1600年ぐらい前のソクラテスという人は、「自分をよりよく変えるためだ」と言っています。スヌーピーは、勉強するのは「なりた
い自分になるため」と言っています。夢を叶えるために勉強をするということなんですね。

校長先生はこう考えます。いろいろあるのですが、1つだけ紹介します。「新しい世界に出会って楽しいから」。知らないことを知って楽しいこと。ワクワクして「もっと知りたい」って自然に思えることが本当の勉強なんだと思います。そして、一人で勉強するのもいいけれど、みんなで勉強するともっと楽しいです。いろいろな友達と考えを出し合うと新しいことに気付けるし、一緒に体育をすると今までよりパワーが出ます。一緒に歌えばきれいなハーモニーが生まれます。コロナが落ち着いてきて、今までよりたくさんの人で、一緒に活動することができるようになります。楽しみですね。勉強は「楽しむため」にするんですよ。

「なぜ勉強するのか」、答えは一つじゃありません。でも、確かに言えることは、勉強ができることは幸せだということ。世界では、戦争をしている国や子どもでも働かないと食べていけない国もあって、その子どもたちは勉強したくたってできないのです。みんなと一緒に勉強できる幸せに感謝して、新しい出会いにワクワクしながら楽しんで勉強していきましょう。

挑む

今年度から、東松島市の小学校1,2年生で英語活動が始まりました。英語でのあいさつや歌などを通し、コミュニケーションの素地を養っています。子どもたちの様子は学校ホームページでご覧いただけます。



2023.4.26

認め合う



今週から児童会が計画を立てた「あかいつ子あいさつ運動」が始まっています。スタートは2年生と6年生の合同。元気な声が朝の昇降口に響きます。一人一人が「さがきげあいさつ」を実践し、「たくましく 笑顔いっぱい あかいつ子」のスローガンに迫ることを期待しています。

支え合う



(左: 読み聞かせボランティアの皆様
右: 田んぼの学校, 5年生保護者の皆様)



赤井小学校はコミュニティ・スクールです！

※ 「コミュニティ・スクール」について、年度初めに改めて確認いたします。

Q1 コミュニ・スクール（以下C・S）ってなに？

A1 「学校運営協議会」が設置された学校

学校運営協議会制度は、一定の法令上の権限を持ちながら、保護者や地域住民が学校運営に参画するための制度です。協議会は、保護者や地域住民で構成され、学校経営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりするといった取り組みが行われます。

東松島市立のすべての小・中学校がC・Sに指定されています。

Q2 PTA（父母教師会）活動と何が違うの？

A2 PTAは保護者の組織、C・Sは地域の組織

PTAは保護者と教師が協力して子どもたちの成長と会員相互の資質向上と親睦を図ることを目的とした組織です。一言で言うと↓

「子どもたちの為に、学校の為、先生と一緒に頑張るぞー！」

C・Sは、校長より依頼のあった内容（教育目標はこれでいいか？体験活動をもっとよくしたい？ボランティアはいるか？等）について、地域の「ひと・もの・こと」を使って手を差し出す組織です。

「おらほの学校だ。地域みんなで育てっちゃ！」

Q3 赤井小学校のコミュニティ・スクールの特色は？

A3 赤井5（ファイブ）と困ったことを解決する組織

赤井5（和太鼓活動、俊斎学習、田んぼの学校、SDGs活動、たてわり活動）を講師やボランティアとなって支えています。今年もさっそく5月18日に5年生の田植え（田んぼ+バケツ稲）の指導をしていただきました。

また、ボランティアの皆様には、環境整備、新入生の見守り活動、読み聞かせなど、子どもたちと関わりながら活動していただいています。子どもたちにとって身近な大人・地域の方とふれ合いつながりを広げる貴重な機会です。

「地域の子どもは地域で育てる応援団だ！」

Q4 今年の部会や委員は？

A4 第1回協議会（5月9日開催）で承認された今年度の委員と部会についてお知らせします。

○会長 齋藤 英彦さん ○副会長 外処健一さん、佐藤美智子さん

部 会	和太鼓活動	田んぼの学校	俊斎学習	安全・防災
部 長	渥美耕太郎さん（地）	遠藤利文さん（地）	外処健一さん（地）	（相談中）
P：PTA	佐藤栄宏さん（地）	山崎恵章さん（地）	佐藤美智子さん（学）	及川 寿さん（地）
地：地域	齋藤 徹さん（地）	齋藤英彦さん（地）	相澤宏智さん（P）	齋藤直仁さん（地）
学：学識経験	西村美穂さん（P）	新沼大希さん（P）		高橋洋介さん（P）

※新規の部会として「安全・防災」部会を立ち上げました。大切な子どもたちの命を守るため、地域の皆様・保護者の皆様の目とお力をお借りいたします。学校の防災計画や対策の確認、施設の安全点検、避難訓練の視察等を行い、助言をいただきます。

※昨年度までであった「ボランティア部会」は、赤井小学校の教育活動を支えていただく「あかいつ子のためのボランティア」として全体に関わっていただくこととしました。おやじの会やeおっかあの会、学習・安全、読み聞かせボランティアの皆様などがこれに当たります。メンバーは随時募集しております。

※赤井市民センター、集落支援員（齋藤さん）、二中学区CS連絡協議会、赤井地区自治協議会等との連携を図ります。

赤井小のCS学校運営協議会は、子どもたちのため、学校のために「知恵」と「行動力」で学校を支える心強い赤井地域ならではの会です。どこにも負けないCS学校運営協議会です。今後ともお世話になります。